

平成16年度 技能検定  
2級 広告美術仕上げ 学科試験問題  
(広告面ペイント仕上げ作業)

- 1 試験時間 1時間40分
- 2 問題数 50題(A群25題、B群25題)
- 3 注意事項
  - (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
  - (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
  - (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
  - (4) 試験開始の合図で始めてください。
  - (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
    - イ A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
    - ロ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
    - ハ 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
    - ニ 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
  - (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
  - (7) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
  - (8) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
  - (9) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
  - (10) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。



[A群(真偽法)]

- 1 アドバルーンを利用して掲出する広告物は、屋外広告物ではない。
- 2 広い面積をラッカーエナメル塗装する場合は、ローラー塗装より吹付け塗装のほうが適している。
- 3 透視図では、直進する道路は遠く離れるほど、道路幅は狭くなり、地面と空との境で一点に集まってしまうが、これを消点という。
- 4 突き出し広告板は、クレーンで取り付けることが多いので、つり環を付けておくのがよい。
- 5 スチールポールに広告物を取り付ける場合、広告物の自重は、考慮する必要がない。
- 6 広告物が受ける風圧力は、広告物の種類と設置状況により異なる。
- 7 コンクリート壁面に文字を書く場合は、油性調合ペイントが最も適している。
- 8 塗料用シンナは、一般に、ラッカーシンナより引火しやすい。
- 9 広告媒体は、広告メッセージをその受け手に伝達する手段である。
- 10 垂直方向の線は、同じ長さの水平方向の線より長く見える。
- 11 色対比とは、接近して置かれた色が互いに影響し合っ、見え方が変わる現象をいう。
- 12 ローマ字書体のガラモン(ギャラモン)はモダンスタイル、ボドニはオールドスタイルである。
- 13 交通標識や安全標識には、機能的な配色が決められている。
- 14 屋外広告物は、大きさにかかわらず、工作物確認申請をする必要はない。
- 15 労働安全衛生関係法令によれば、足場の組立て等の作業主任者が事業所に1名選任されていれば、同時に異なった作業場で足場の組立て等の作業が実施できる。
- 16 一般に、人体内に50mA以上の電流が流れると生命が危険とされ、100Vの電圧でも死亡することがある。



[A群(真偽法)]

- 17 ドリルによるアクリル板の穴あけ作業では、板厚の厚いものほどドリルの回転数を低くする。
- 18 羊毛の刷毛は、ねばりの少ないさらりとした塗料を塗るのに用いられる。
- 19 広告板の木地部分で、塗装前の素地調整に使用する研磨紙の番手は、180番ぐらいである。
- 20 有機溶剤は、引火点が高いものほど引火しやすい。
- 21 プラスチック板の曲げ加工に使用する型板の材質として、最も多く使用されているのはけやきである。
- 22 金属文字のめっき面の保護にクリアラッカを塗ると、耐久性が良くなる。
- 23 スクリーンプロセス印刷のための原稿には、左右反転された図柄を描く。
- 24 油性塗料の調色では、色合いを見本色より、やや濃く調色する。
- 25 打抜き可能な塩化ビニル板の板厚は、常温で約10mmまでである。



[B群(多肢択一法)]

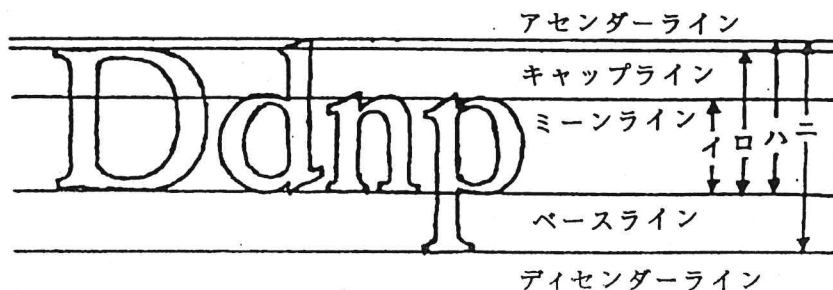
- 1 屋外広告ではないものはどれか。
  - イ 電車・自動車などの車内に表示されたもの
  - ロ 消火栓広告
  - ハ 構築物に取付けられた垂れ幕
  - ニ 建築物の外壁に投影された映像表示
  
- 2 900mm×1800mmの木枠に0.4mmのカラートタンを張るのに適さないものはどれか。
  - イ 接着
  - ロ 釘止め
  - ハ 木ねじ止め
  - ニ ステップル止め
  
- 3 建物の構造、設備などの図面上にある記号と意味の組合せとして、誤っているものはどれか。
  - イ CH・・・・・・天井高
  - ロ FL・・・・・・基準床面
  - ハ RC・・・・・・軽量気泡コンクリート
  - ニ GL・・・・・・基準地盤面
  
- 4 インパクトレンチ(インパクト)の用途はどれか。
  - イ ボルトの切断
  - ロ パンチ<sup>きり</sup>穿孔
  - ハ ボルト、ナットの締め付け
  - ニ ボルトのねじ切り
  
- 5 自立広告物の基礎底面には、広告物自重、基礎自重、地震、風などが作用するが、それに耐えられる地盤のうち、最も強いものはどれか。
  - イ 密実な砂質地盤
  - ロ 粘土質地盤
  - ハ 密実な<sup>ねり</sup>礫層地盤
  - ニ ローム層地盤
  
- 6 鉄板に直に塗装し、長期間屋外に掲示する広告板を製作する場合に使用する塗料として、適切でないものはどれか。
  - イ 合成樹脂塗料
  - ロ ラッカー塗料
  - ハ 油性塗料
  - ニ 酢酸ビニルエマルジョン塗料





[B群(多肢択一法)]

- 7 広告板製作に使用されない材料はどれか。  
イ アクリル樹脂板  
ロ かつら材  
ハ 発泡スチロール  
ニ パーティクル・ボード
- 8 ウルト라마リンブルーと呼ばれる顔料はどれか。  
イ 紺青  
ロ 緑青  
ハ 群青  
ニ 青紫
- 9 文字看板は、文字によるコミュニケーション効果を上げるものであり、その例として適切でないものはどれか。  
イ おでん屋の赤提灯  
ロ そば屋の藍のれん  
ハ 料理屋の行灯看板  
ニ 床屋のねじれ棒
- 10 文中の( )内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。  
記号(サイン)は、符号的な記号( A )と象徴的な記号( B )に分けられる。
- |   | A    | B    |
|---|------|------|
| イ | シグナル | シンボル |
| ロ | シンボル | シグナル |
| ハ | 文字   | 形    |
| ニ | 形    | 文字   |
- 11 ローマ字の級数を表すのは、どの幅か。





[B群(多肢択一法)]

- 12 ローマ字書体のボドニに関する記述のうち、誤っているものはどれか。
- イ 幾何学的な線で構成されている。
  - ロ セリフのブラケットが三角形のようになっている。
  - ハ 縦線と横線の太さの比が大きい。
  - ニ モダンフェースの代表的書体である。
- 13 文中の( )内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。  
暖色と寒色の間に位置する色相の緑や紫は、( )と呼ばれる。
- イ 中間色
  - ロ 中性色
  - ハ 前進色
  - ニ 有機色
- 14 ログタイプについての記述として、誤っているものはどれか。
- イ 企業や組織等の指定書体
  - ロ 商品やサービスを視覚化した書体
  - ハ 多用性を目的とした一つのフォント
  - ニ 組合せ活字
- 15 屋外広告の効果は、景観との関係によって得られるが、この観点から見て、最も適切な説明はどれか。
- イ 地域の特性を生かした共感できる広告物による街づくり効果
  - ロ 周辺環境の中で、より目立つ色彩による広告の印象効果
  - ハ マスメディア広告との連合による、より大きな広告物の視覚効果
  - ニ 同一の広告物を多量に配置することによる広告の相乗効果
- 16 屋外広告物関係法令によれば、正しい記述はどれか。
- イ ニュースのみの報道を行い、一般商業広告を行わない電光掲示板は、屋外広告物ではない。
  - ロ 駅等の改札口の内側の人に表示された広告物は、屋外広告物ではない。
  - ハ 建築物の外壁面に描かれた絵画は、屋外広告物ではない。
  - ニ 公の機関が、電柱に広告物の表示を禁止する旨を書いた札を当該電柱に表示した場合、この札は、屋外広告物ではない。
- 17 やけどをした場合の応急処置手順に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 患部は低温で冷やすことが重要なので、時間がかかっても氷水をつくり、十分冷やす。
  - ロ やけどの範囲が広い重症の場合には、軽症の場合より長く患部を冷やす。
  - ハ 着衣のままやけどし、衣服が患部に密着している場合は、無理に衣服を脱がさず、着衣のまま患部を冷やす。
  - ニ 冷やしたあとは、患部を清潔な布で包み病院へ行く。



[B群(多肢択一法)]

- 18 プラスチック板同士を、重ね合わせて接着するときの道具の組合せとして、適切なものはどれか。
- イ 注射器、ピアノ線、小筆
  - ロ 注射器、コーキング、へら
  - ハ 噴霧器、ゴムローラ、小筆
  - ニ 噴霧器、刷毛、へら
- 19 ローラブラシ作業に使用されない器工具はどれか。
- イ ローラミル
  - ロ ローラネット
  - ハ ローラバケット
  - ニ ローラパン
- 20 電動ポータブルサンダに関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 前後運動をするものは、木材の素地調整、目止め調整などに適している。
  - ロ 力強く押さえつけると運動スピードが増し、圧力によって作業能率を良くする。
  - ハ 円弧運動のものは、さび落としなどの粗い研削作業又はつや出し研磨などに適している。
  - ニ 空気式サンダと電気式サンダがある。
- 21 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。  
塗料を垂直に塗った場合、塗料層が下方へ長く柱状に流れる現象を( )という。
- イ にじみ
  - ロ たれ
  - ハ あわ
  - ニ ふくれ
- 22 広告板の製作・施工に関する記述として、正しいものはどれか。
- イ 広告板の鉄骨枠の上に鉄板を張る場合は、さびや汚れが広告板面に現れないように、下から上に貼り付けていく。
  - ロ 広告面の板面塗装で塗料を塗り重ねるとき、下層の塗膜が十分硬化していないとちぢみやつやむらを生ずる。
  - ハ ゴシック筆で文字を書く場合は、書きやすくするために穂先を切りそろえるとよい。
  - ニ 広告板の取付けで、建築物の壁面の建築時にアンカーボルトを埋め込む作業をホールインアンカという。



[B群(多肢択一法)]

- 23 屋外広告物と景観に関する記述として、適切なものはどれか。
- イ 屋外広告物は、街の活性化に貢献することが主目的であるから、景観への配慮は二次的にならざるを得ない。
  - ロ 屋外広告物は、街の景観形成に対して大きな影響力があり、その責任が問われている。
  - ハ 屋外広告物は、デザインが良ければどのような環境にあっても、景観上問題にされることはない。
  - ニ 屋外広告物のデザイナーは、街の景観に対して責任を問われる立場にはない。
- 24 木彫広告板の加工に最も多く使用されている材料はどれか。
- イ ラワン材
  - ロ 赤松材
  - ハ カツラ材
  - ニ 杉<sup>まきめ</sup>征目材
- 25 アルミニウム複合板に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 直角に折り曲げることができる。
  - ロ タッピング止めができる。
  - ハ ペイント塗装ができる。
  - ニ 粘着シート加工ができる。





平成16年度前期技能検定学科試験正解表

2級 広告美術仕上げ  
 広告面ペイント仕上げ作業

真偽法  
 択一法

番号	解	答	番号	解	答	番号	解	答	番号	解	答
1	正	誤	21	誤	41	イ	口	21	口	41	
2	正		22	正	42			22	口	42	
3	正		23	誤	43			23	口	43	
4	正		24	誤	44			24	ハ	44	
5		誤	25	誤	45			25	イ	45	
6	正		26		46			26		46	
7		誤	27		47			27		47	
8		誤	28		48			28	ハ	48	
9	正		29		49			29		49	
10	正		30		50			30	イ	50	
11	正		31		51			31		51	
12		誤	32		52			32	口	52	
13	正		33		53			33	口	53	
14		誤	34		54			34	ハ	54	
15		誤	35		55			35	イ	55	
16	正		36		56			36	口	56	
17		誤	37		57			37	イ	57	
18	正		38		58			38	イ	58	
19	正		39		59			39	イ	59	
20		誤	40		60			40	口	60	

